

特249
845

神原先生述

親族法

法學科一年

第一分冊

昭和十二年四月

中大印刷部印刷



始



特249

845

神原先生述

親族法

法學科一年
第一分冊

昭和十二年度六月

中大フリント同盟會發行

3
4

第 249
845



目次

第一章	親族法ノ概念	一
第二章	親族法ノ種類	三
	戶籍法	六
	人事訴訟手續法	七
第三章	親族法ノ地位	八
第四章	親族法通用ノ範圍	一〇
第一節	親族	一一
第二節	親族ノ種類	一六
第三節	親族ト親統	三〇
第四節	親族關係	三三



はしがき

一、本會は多数學生諸君の御希望に後ひ、我々プリント同盟會委員の學
良心に基く内容を以て努力してゐます。
而して學生の向上進學を計らんが爲、ノートの頒らひを扶け、時間の
經濟その他により勉學能率、學生親睦の向上等のはかりひを得ば、本
會の悦とするところ也。
學生諸君の御援助と申頼進をお願ひ致します。

昭和十二年六月

中大プリント同盟會

親族法

第一章 親族法ノ概念

親族ト言フ見分ケヨリ出ズル權利、義務ノ中、主要ナル部分ヲ形成スル
事ハ勿論タカ、所謂、親族ト言フモノハ、ソレニハ限ラナイ。カ主、家族
ト云フ身分、及ビ之ニ基ゾイテ生ズル權利義務ニ関スル法律ノ規定モ親族
法ノ一部ナレバ、何人モ認メル所ナル。然モ戸主家族ト言フ身分ハ、親
族ト言フ身分トハ、全ク異ル身分デアル。
且ツ之等ノ身分ハ親族關係ノアル人々ノ間ニ存在スル事カ普遍ナルカ、
第ニソレヲハ叙イ。

尚又、後見人、後見監督人、親族會、被後見人ト言フ身分モ、親族ト言
フ身分トハ、別個ノ身分テマリ、且ツ之等ノ身分ハ親族關係ノアル人々ノ

間ニ存在スル事カ普通ニアルケレドモ、常ニソレダトハ限ラナイ。

然ルニ之等ノ身分及ビ之ニ基ツイテ生カル權利義務ニ関スル規定カ親族法ニ含まレル。

以上ノ諸種ノ規定ヲ一括トシテ、之ヲ親族法ト云フノハ、名実相伴ナハ又歐ジカスルケレドモ、細カク之ヲ觀察スルト、戸主、家族ト云フ身分ト密接ノ関係カ連絡シテ居ル事ヲ本則トスル。ソレ故ニ之等ノ身分及ビ之ニ基ツキテ生カル權利義務ニ関スル規定ヲ親族法ト云フ。

身分及ビ之ニ基キテ生カル權利義務ニ関スル規定ト抱括シテ之ヲ親族法ト云フコトモ不可云ハナイ。

上ニ述ベタ所ニ依リテ、親族法ヲ簡單ニ定義スルナラバ、親族法ト云フ身分及ビ之ニ密接ノ関係シテ居ル一定ノ身分並ニ之等ノ身分ニ基イテ生カル權利ニ関スル所ノ法規ノ定体ト云フ事カ出来ル。

第二章 親族法ノ法源

第一、民法ノ第四篇ハ親族ト題シテ多数ノ親族法的規定カ示サレテ居ル。

故ニ同篇カ親族法ノ主要ナ法源ナル事ハ言フ俟タナイ。

然レナカラ此ノ民法ノ第四篇ノ外ニ親族法的規定カ皆無ナルト云フコトハ出来ナイ。

1. 民法ノ第四篇ニ納メラレテ居ルモノハ親族及ビ之ニ密接ノ関連シテ居ル。一定ノ身分並ニ之ニ基キ出カル所ノ權利義務ノ実体ニ関スルモノ（親族法実体的規定）ソレ等ヲ云フ物ノミデアツテ、之等ノ權利義務ノ發生、消滅ニ関係アル所ノ手續ノ規定ニハ及バナイ、ヘソウ云フ規定ヲ親族法手續法的規定）此ノ種ノ手續キハ民法以外ノ特別法カ之ヲ定メテ居ル。

戸籍法、人事訴訟手續法、非訟事件手續法、等ハソノ主ナルモノナリ

之等ノ法律ハマハリ親族法ノ法源ヲ形ヅクルハ言フヲ持タナイ、民法第四篇ハ親族實體法ノ全部ヲ網羅シテ居ルモノトモ然イ、即チ肉體以外ニナホ親族實體法規定カ多ク存在スル、

皇室典範、皇室親族令、皇族身位令、皇族檢見令、皇族令、法律、^{手続法}令、國籍法、其ノ他多數ノ法例カ下ル、之等ニ親族法ノ法源ヲナス、

尚親族法實體ハ、民法ノ一部ナルカラ、民法ノ第一篇總則ノ規定ハ當然ニ親族實體法ノ規定（民法第四篇其他）其上人被、徑テ親族及之ニ密接關係スル一定ノ身分並ニ之等ノ身分ヨリ生ズル權利義務ニ関スル事項ニ付テ民法第四篇ソノ他ノ親族實體法ニ特別ノ規定カナイ所ハ、性質ノ許ス限リハ民法第四篇ノ規定カ適用サレル、

前又民法第四篇ハ親族法及之ニ密接關係シテ居ル一定ノ身分ニ基キ生ズル權利義務ニ関スル事項ニ付テ民法第三篇、債權篇ノ規

ニノ外

是ヲ順用スルト定メテ規定カ下ル、

例（ハロロ、ハロ六、ハハ七、ハ一三、九一六、三三〇、三三

大条 — 全部民法）

此等ノ意味ニツイテハ民法第一篇及之ニ三篇ノ中ノ或ル規定モ親族實體法ノ規定ナルト云フ事カ出来ル、

第二、慣習法ノ中ノ事ヲ述ベル

明治三十五年ノ法令ノ二條ニ依ルト、公序、良俗ニ関シナイ慣習ニシテ法令ノ規定ニ依リテ認ラレタ物及之法令ニ否定ノ無イ事項ニ関スル物ハ、法律ト同一ノ效果ヲ有スル、而シテ親族法中ニ関スル物示此ノ規定ニ存在シナイカラ、所謂法例ノ規定ニ依リ認メラレタ慣習親族法ト云フモノハ今ノ所存在シナイ、

之ニ反シテ親族法及之密接關係シテ居ル戸主、家族等ノ身分並ニ之等ノ身分カラ生ズル權利義務ニ關係アル事項ニ付テハ、從來多數ノ慣例カ下ツテ其ノ中ニハ親族法ニ規定ノナイ事柄ニ関スルモノカ下ル、

ソレ故ニ若シ此種ノ慣習ニシテ、公ノ秩序、善良ノ風俗ニ反シナイ物
カアレバ、ソレハ慣習親族法トシテ效果ヲ有スル。

戸籍法

戸主、家族、親族タル身分ノ出来事ニ生ズル行跡ヲ登録スルノヲ戸籍事
務ト云フ。

此事務ハ一種ノ國家ノ行政事務ニ属スルカ國家ハ、市長、町村長、(特別
ノ區ニハ區長)ニ任シテ之ヲ管掌セシムル、コノ資格ニ於ケル市長、町村
長ヲ戸籍事務ヲ行フ市町村長ト云フ。

戸籍法ハ戸籍吏ト云ツテ居タカ、現行、戸籍法ハ右ノ如クニ改修シタ、
民法ハ舊戸籍時代ノ名称ニ從ツテ、戸籍吏ト云フ語ヲ用ヒテ居ル、今ノ
戸籍吏ニハ之ハ異イ、民法ニ戸籍吏カアルノハ戸籍吏ヲ行フ市町村長ノ事
ト云ハナクテハナラナイ。

戸籍ハ戸毎ニ編制シテ地番順ニ編制シテ帳簿ニスル所謂戸籍簿ト云フノ

ニノ内

ハ之テ有ル、戸籍ニハ戸主、前戸主、家族ノ氏名、戸主家族ノ生年月日、
戸主家族ノ戸主家族トナツタ原因及ビ年月日、戸主、家族ノ親族関係、後
見人、補佐人ノ氏名、本籍就職、任務終了ノ年月日、ソノ他、戸主家族及
ビ親族ノ身分ニ関スル一切ノ事項ヲ記載スル、

夫レ改ニ戸籍ハ人ノ身分ニ関スル事項ヲ一目瞭然タラシムルノテアル、
人ノ身分ニ関スル重要ノ證據トナル。然シ作ラ之ハ一様ノ證據タルニ止マ
ル。人ノ身分ニ関スル事項カ之ニ依リテ決定セラレルモノテハナイ。

戸主家族タル身分並ニ親族タル身分ニ関スル出来事ハ之ヲ戸籍事務ヲ行
フ市町村長ニ届出ルヲ要ス。ソノ事項ノ中元或ルモノハ右ノ届出ラナサザ
レバソノ效果ヲ生ゼズ、例ヘバ隱居、婚姻、協議離婚、養子縁組、離養、
離縁、認知等ノ如シ、而シテ届出ノ手續ハ戸籍法ニ細記シテアル。

人事訴訟手續法

戸主、家族、親族タル身分上ノ權利義務ニ関スル訴訟ノ手續ハ財産上ノ

權利義務ニ関スル訟訴ノ手續トハ、同一ナル事ヲ得テイ、ノハ勿論ナルカ、
ソレ故ニ一般ノ訟訴手續ヲ定メテ居ル。民事訟訴ノ外ニ此ノ法律カアツテ、
前述ノ身分上ノ權利義務ニ関スル訟訴ノ特別ヲ定メテ居ル。此ノ人事手續
法ニ依ルト裁判所ノ管轄示アル。

第三章 親族法ノ地位

1. 親族法ハ私法ニ屬スル。公法、私法ノ區別ニヨツテハ種々ノ意見カア
ルカ、私ハ權力關係ヲ規定シタ法則カ公法示權利關係ヲ定メタ法則カ
私法ナルトノ見解ヲ有スル。
親族法ハ、戸主、家族、親族等ノ身分ニ基ツク權利義務ヲ定メタ法則
カカラ私法ニ屬スル。
(斯ク分ケルト法トハ共同生活ノ規則示アル、共同生活ニニツアル。
權力關係、權利關係示アル)
但シ親族法ハ中ニ裁判所ノ檢察、市町村長等カ、權力ノ左様トシテ、

戸主家族、親族等ノ身分上關スル事ヲ定メタ規定カアル(七五三、七
五四、七五七、七五八、七五九、七六一、七七五條等)

七七五條ヨリ七七七條ニ至ル規定、七八〇條、之ハ權力關係ヲ定メ
タモノカカラ、公法的可能性ヲ有スルヲ否定シ得ナイ。

2. 親族法ハ民法ノ一部示アル

3. 親族法ハ身分法示アル。民法ニ對スル法ト身分法カアル

財産法ハ財産上ノ權利義務示アル。身分法ハ身分上ノ權利義務ニ関ス
ル法示アル。

4. 親族法ハ強行法ニ屬スル。

親族法ニ関スル規定ハ大部分公ノ秩序、善良ノ風俗ニ關係ノ有ルモノ
示アルカラ、強行法タル性質ヲ有スル。但シ親族法ノ規定ト雖ヘトモ
公ノ秩序、善良ノ風俗ニ關係ノナイモノハ統治者ノ自由意思ヲ強制シ
テ適用スル必要ハナイカラ、任意法タル性質ヲ有スル。例ヘバ夫婦財
産制、夫婦財產制ニ用イル規定、七九八條ヨリ八〇九條迄ノ如シ。

第四章 親族法適用範圍

親族法ハ民法ノ一部ナルカラ、民法ニ別段ノ規定ノ限リハ親族法ノ適用範圍、即チ民法適用範圍ノ一致スル、民法適用範圍ノ事ハ總則ニ於テ説明スベキ事カカラ、此處ニハ述ベナイ、只、親族法ノ特別ナル適用範圍ヲ説明スル、

一、時ニ關スル親族法ノ適用範圍

親族モ別段ノ規定ノアル場合ノ外ハソノ實施以前ニ生ジタ事柄ニ付テハ適用セラルベキ物ナラズハ勿論ノ事ナリ、

但シ民法施行法ニハ民法第四篇ヲ其ノ實施前ニ生ジタ事項ニモ適用スベキ事ヲ定メタ別段ノ規定カ少クナイ、同法ノ五章六ニ條以下、

二、人ニ關スル親族法ノ適用範圍

一、皇室ニ付テハ皇室典範、皇室親族令、皇室身位令、皇族後見令等ノ特別法カ適用セラル、民法四篇、ソノ他、親族法ノ規定ハ適用ラミ

三ノ内

ナイモノナアル。

ロ、茲族ニ就テハ、華族ナルモノカアルカ、ソノ法ハ只普通親族法ニ定メタル事柄ヲ規定シタモノカ、普通親族法ノ規定ヲ適用スルノニ就テハ或ル制限ヲ定メタ規定ニ適ヤナイカラ、華族ニ對シテハ特別親族法ナル華族令ト共ニ普通親族法モ適用カアル。

ハ、台湾島人ノミノ親族的事項（朝鮮人ノミノ親族的事項）ニ就テハ夫々ソノ慣習法ニ從ツテ親族法ノ適用ハナイ。

大正十一年ノ勅令四〇七條、台湾島人ノソレヲ含ム明治四五年ノ制令第七号、朝鮮民事令ハ朝鮮人ノミノモノナリ。

三、外國人ニ對スル親族法適用ニ就テハ、法令ニ規定カアル。
例（一三一ニ四條ナリ）

第一節 親族

第一 總論

自然ノ親族ト法律上ノ親族

人ノ親族的共同生活ハ男女ノ相結合シテ子ヲ生ム事ニ始マル原始時代ノ親族的共同ノ態ヲニ就テハ種々學說カアルケレトモソノ起原カ上述ノ事實ニ存スル事ハ疑ヲ入レナイ、

即チ男女ノ配合ニ際シテ血統連絡ノ關係ハ人類ノ親族の共同ノ基礎ヲナスモノナリ。即チ自然ノ意味ニ於ケル親族ノ範圍ノ一致スル、言葉ヲ變ヘテ言ハバ自然ノ意味ニ於ケル親族トハ配合ノ關係アル男女及ビ血統ノ連絡シテ居ル人々ノ凡テソノ範圍トスルト同時ニソノ外ニハ出テナイ、

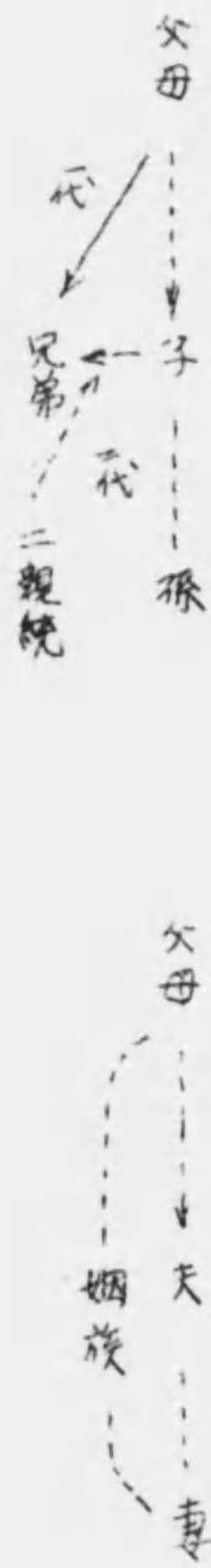
法律上ノ制度トシテノ親族ノ範圍ハ必ズシモ上記ノ如ク自然ノ意ノ如キ親族トハ一致セズ、蓋シ法律上ノ制度トシテノ親族トハソノ國ノ人情風俗ニ反シナイ様ニ又社會の必用ノ範圍ニ於テ建設セラルルヤキナレハ、即チ法律

此ノ外

上ノ制度トシテノ親族ハ或ハ自然ノ意味ニ於ケル親族中ノ或ルモノヲ除外シヘテ有限血族親制度、或ハ又自然ノ意味ニ於ケル親族ニ非カルモノヲ如ヘル、而シテ諸國ノ認めル法律上ノ親族ノ範圍ガ見テ異ル事ハ上記ノ說明ヨリ推シ知ルヲ得ル、

第二 民法上ノ親族

民法ノ認メテ親族ハ、六親等内ノ血族（法定血族ヲ含ム）、配偶者及ビ三親等内ノ姻族ヲアル。（七ニ五、七ニ七、七ニ八条ヲ見ヨ）



民法ハ六親等内ノ血族ヲ以テ親族トシタノハ有限血族親制度ヲ採用シタ

ノニ外ナラナイ。

有限血族親制度ノ法制ニアリテハ親族ノ範圍ヲ定ムル様式ニニツアル。其ノ一ツハ自然ノ親族ノ中ヲ法律上ノ親族トナスベキモノヲ一ツ一ツ列記ヲスル。

例ヘバ、親族ハ次ノ如ク、妻、子、孫ノ如シ

其ノニハ親等ト云フノヲミトメ、一定ノ親統ヲ以テ自然ノ親族ヲウクシ、ソノ範圍ニアルモノヲ凡テ法律ノ親族トスル。

民法ハ即チ此ノ様式ヲ採用シテ居ル、又民法ハ法定血族婚姻ト云フモノヲ認メタノハ即チ自然ノ親族ニアラザルモノ法律上ノ親族トナシタルモノナリ。

第三 親族タル身分

1. 甲か乙ニ対シテ親族ナリト云フノハ正確ニ云フナラバ、甲ハ乙ニ対シテ親族タル地位ヲ有スト云フ事ナリ、ソノ地位ハ一種ノ身分デアリ。

四ノ内

身分トハ人ニ回着シテ居ル法律上ノ地位ニシテ、權利義務ノ基礎トナルモノヲ云フ。

親族タル身分ハ特定ノ人ト人トトカ同対立スル両柄ニ於テオ互ニ相互的ニ存スルモノデアリ、身分ノ内ニハ何等特定ノ対立者アルヲ要セズシテ存スルヲ得ルモノカアル。

之ニ反シテ親族タル身分ハ特定ノ人トハ相對立スル事ヲ前提トシテノミ認メラレルモノ示、而シテ、相對立シテ居ル、甲か乙ノ親族タル身分ヲ有スル時ハ乙モ又必ず甲ノ親族タル身分ヲ有スル、且ソノ相互的ニ有スル親族タル身分ハ同種タルハ勿論ソノ態様ニ於テモ又同一ナル事デアリ。

2. 親族ニハ血族、配偶者及び、姻族ノ三種カアルカラ親族タル身分ニモ之ト同ジク三種アル。

民法ハ親族タル身分ニ基キ、種々ノ權利義務ヲ発生セシムルカソノ權利義務ハ上記ノ身分ニ基キ異ニスル、

第四 親族関係

親族相互関係ヲ親族関係ト云フ、親族タル身分ト親族関係トハ畢竟同一ノ事ヲ違ツタ方面カラミテ名ヲツケタニスヤナイ、ソレ故ニ親族タル身分ニ基ツキ、種々ノ權利義務ヲ生ズルノハ親族関係ノ效果ト云フモヨクミイ

第二節 親族ノ種別

親族ニハ血族、配偶者及ビ姻族ノ三種アル事ハ既ニ述ベタ通りナル、
血族ニハ自然血族ト法定血族トニ種類カアル、

第一 自然血族

之ハ血族連続ノ関係アル人々ヲ云フノチアル、
直系 甲……乙

五ノ外

傍系 甲……乙
丙

血族ニハ直系、共同ノ始祖カラ血統が変ツテ居ルモノ(傍系)
但シ血族ノ親族タルハ六親統内ニ限ラレル(ヘセニ五条)

自然血族ハ血統連続ト云フ自然ノ事實ニ基イテ認めラレルモノナルカ
ラ自然血族タル名称が与ヘラレル、

自然血族ノ最モ親シキモノヲ親子トナス、子ノ中ニハ嫡女子、庶子、私生子
ノ三種カアル、

親子ハ一方カラ一世代血族カ直下シテ居ル血族ナアツテ、直系血族ノ最モ
單純ナモノナル、ソノ他ノ直系血族ハ凡ヘテコノ関係ヲ若干世代重ネタ
モノニスギナイ、

傍系血族ノ最モ近キ物ヲ兄弟姉妹トスル、兄弟姉妹ノ中ニハ、同父、同母
ノモノ同父異母ノモノ、並ニ異父同母ノモノノ三種アリ、
兄弟姉妹ハ共同ノ始祖カラ双方ヘ一世代下ツタ血族ナアリ傍系血族ノ最モ

單純ナモノナアル、

ソノ他ノ傍系血族ハ要スルニ、コノ一方又ハ双方ニ更ニ若干ノ世代降ツ
タ人々ナアル、

自然血族ハ次ノ如クニ之ヲ分類スルコトヲ得、

1. 嫡出血族ト庶子血族

嫡出血族トハ嫡出子ヨリ出ル血族

庶子血族トハ庶子又ハ私生子ヨリ血統ノ流ルルモノ

民法ハ嫡出血族ト庶子血族トノ區別ニヨリテ大イニ待遇ヲ異ニスル、

此ノ區別ハ最も重要ナアル、(八七三三条、七三五条、九七〇条)

2. 直系血族ト傍系血族

之ニ付テハ後ニ詳シク説明スル、

3. 父母同系ノ血族

父母同系血族ニハ次ノニ種類アリ

父系血族

母系血族

父母同系ノ血族トハ同一ノ夫婦ヲ共同始祖トスル血族ヲ言フ、

父系血族トハ同一ノ男子ノミヲ共同始祖トスル血族

母系血族トハ同一ノ女子ノミヲ共同始祖トスル血族

此ノ區別ハ民法上待遇ハ異ルモノナリ、

男系血族トハ男子ノミニ依リタルモノ、女子ヲ介在シナイモノ

一人又女子ノ介在シテ居ルハ女系血族ニナル、

男 ↓ 男 ↓ 男 ↓ 男

一ノ二

第二項 法定血族

法定血族ト云フノハ本來血統ノ連絡ナキヌタデアツテ法ノ規定ニ依リテ血統ノ連絡アルノト同様ニ取扱ハレル人々、即チ法律ノ(ギセイ)ニ依ル血族デアール(準血族ト云フ)

法定血族ハ養子縁組ニ基クモノト婚姻ニ基クモノニツニ分ツテ得、第一目ニハ養子縁組ニ基ク法定血族

第一、養子ト養親及其ノ血族トノ間ニハ自然血族ノ間ニ於ケルト同一ナル親族關係ヲ生ズル(七ニ七條)

即チ法定血族ノ間デアール、此ノ法定血族ノ關係ハ其ノ者ノ間ニ生ズル

1、養子ト養親トノ間、養子縁組ニ依リテ他人ノ子トナルヲ養子ト云

ニ其ノ親トナルモノヲ養親ト云フ、養子ト養親トノ間ニハ親子ノ關係ヲ生ジ其ノ關係ハ嫡出子ノ關係デアール(八六〇條)

2、養子ト養親ノ血族ノ關係

養親ノ血族ト云フ中ニハ親ノ自然血族ト法定血族トヲ包含スル

養親ノ血族ト養子トノ間ニ法定血族關係ヲ生ズルモノニハ、養親ノ血族ガ養子縁組ノ當時カラ存ジテ居ルノヲ必要トシナイ

養親ノ血族ト養子トノ間ニ法定ノ血族關係ヲ生ズルモノニハ養親ノ血族ガ養親ノ家ニアルコトヲ必要トシナイ、

但シ血族ノ親族タルハ大親統内ニ限ラレハカラ、養子トノ間ニ親族ノ關係ヲ生ズベキ養親ノ血族ハ養子カラ見テ大親統ヲ超ヘナイモノタルヲ要スル、即チ養親ノ五親統ノ血族迄ガ養子トノ間ニ法定血族ノ關係ヲ生ズルモノガアル

養子ト養親及其ノ血族トノ間ノ法定血族關係ハ一般ニハ養子縁組成立ノ日ヨリ生ズルヘシニ七條)

但シ養子ト養子縁組後生ジタル養親ノ血族トノ間ニ於テハ其ノ養親ノ血族ガ生ジタ時ニ法定ノ血族關係ガ生ジル

第二、養子ガ養子縁組後養家ニ於テ、モウケタ直系卑屬ハ本末ハ養親及其血族ト血統ノ連絡ガアルノデハナイガ民法ハ三等ノモノトノ間ニ親族

關係アルコトヲ認メルヘシニ。條ニ項參照)此ノ親族關係ハ養子縁組ヲセントスル法定ノ血族關係ニ外ナラナイ

第三、養子縁組ニ基キ法定ノ血族關係ヲ生ズルノハ以上述べタモノ、間ニ限ル。其レ故ニ養子ノ血族ノ養親及ビ其ノ血族トノ間ニハ何等ノ親族關係ヲモ生ズズ、養子ノ実方ノ血族ト云フノハ養子ガ養子縁組ニ依リテ養家ニ入ル前カラ存ズル血族及其ノ血族ヲ經テ其ノ後ニ生ジタ血族ヲ云フノデアル。

実方ノ血族ハ養子ノ実家ニ在ル者ニハ限ラナイ、即畢竟スルニ養子ノ血族ノ中デ養子ガ養子縁組ノ後ニモウケタ處ノ直系卑族ヲ除ヒタ外ノ血族ガ実方ノ血族デアル。

婚姻ニ依ル法定血族

(甲) 継父母、継子及其ノ直系卑屬
継父母ト継子

継父母ト継子ノ間ニ於テハ自應的親子ノ間ニ於ケルト同一ナル親族關係

ヲ生ズル。即チ一種ノ法定血族ノ關係デアル。此ノ事ハ七ニハ條ノ明言
スル處ナルモ、所謂継父母継子トハ如何ナルモノヲ云フカト云ハバ、法
律ハ何等言ツテナイカラ、解釋デモヲ謂ハル外ハナイ。

男女婚姻ヲシテ子が生レ、其ノ婚姻解消ノ後其ノ子ノ母又ハ父ガ他ノ男
子、或ハ女子ト再婚ヲ爲シタル場合ニ其ノ夫妻ト右ノ前婚ノ子トガ継父
母、継子ナルコトハ疑ハナイ。
此ノ場合ニ於テ、

1. 継父母タルモノニ就テ觀察スルト
- (イ)、継父母タル者ハ此ノ母又ハ父ノ配偶者デアル。
- (ロ)、後夫又ハ後妻デアル。
- (ハ)、第二ノ婚姻ニ於ケル配偶者デアル。
2. 継子タル者ニ就テ觀察スルト
- (イ)、継父母ノ配偶者ノ庚子デアル。
- (ロ)、嫡生子デアル。

(ハ)、現在所屬ノ家ノ家付ノ子デアル。

3. 双方ヲ觀察スルト理由ヲ同ジクシテキル。

右ニ述ベタ如キ條件ヲ備ヘテキル。今継父母継子ノ關係ヲリト爲スノ
ニハ、三等ノ條件ヲ凡テ具備スルコトヲ要スルヤ否マヲ研究スル。

1. (イ)ノ條件ハ必ず之ヲ備ヘルヲ要ス

即チ單ニ此ノ母又ハ父ニ所謂内縁ノ夫妻關係又ハ私通關係アルニ止マ

ル男女ハ継父母ノルコトヲ得ナイ。

1. (ロ)ノ條件ニ就テハ議論ガアル。右ニ此ノ條件ヲ必要ト解スルアラハ

バ、例ヘバ獨身ノ女又ハ男ケ養子ヲ爲シタ後ニ婚姻ヲ爲シタ場合ニ於

テ、其ノ養母ノ夫、又養父ノ妻ト養子トノ間ニハ継父母、継子トノ関

係ナシト言ヘナラフテハナラナイ。所カ三等ノモノ、間ニハ、養父母、

養子ノ關係モアリ得ナイカラ、單純ナル姻族關係ガアルニ過ギナイノ

デ、親子ノ關係ナキコトニナル。

民法ハ継父母、継子ノ間ニ法定血族ノ關係ヲ認メルノハ一家ノ構成員

ノ間ノ人情ヲ圓満ナラシム、家内ノ平和ヲ維持セントスル所以ニ外ナ
ラヌ、所ガ前述ノ如キ結果ハ此ノ所以ニ及スルコト明カナリ、其レ故
此ノ條件ハ必要ナラズト解釋スルガヨイ、既ケ継父母トナルベキモノ
ハ此ノ父母ノ初始ノ配偶者デモ良イ。

(1)ノ(4)ノ條件ハ必ズシモ具備スルコトヲ必要トシナイ、即ケ此ノ母又
ハ父ノ第三以下ノ配偶者デモ継父母タルニ妨ゲナイ。

2ノ(4)ノ條件モ必要デハナイ、即ケ継子ハ継父母ノ配偶者ノ成子タル
コトヲ必要トセズ、

2ノ(4)ノ條件モ絶對的ニ必要ナモノデハナイ、即ケ継子ハ継父母ノ配
偶者ノ嫡生子デナクトモヨイ、即ケ成子ハ継子タルコトヲ得ル、三ニ
及シテ私生子ハ継子タルコトヲ得ナイ。

以上ノニツノ點ヨリ成子ノ良イノハ判例デ認めラレル、(明治三十七
年)ノニモ認めラレル、

2ノ(4)ノ條件ハ必要トスルマ否マノ問題ハ即ケ連子ハ継子タルコトヲ

得ルマ否マ、所謂連子ト云フノハ、妻ノ前婚ノ子ニシテ夫ノ家ニ入リ
タル者、又ハ入夫、又ハ婿養子ノ前婚ノ子ニシテ妻ノ家ニ入リタルヲ
云フ。

連子ハ継子タルヲ得ナイヲ解スルヲ相當トスル、(實際ノ取扱ハ継子
タル身分ヲ認めケル)

3ノ條件ニ就テハ、之ヲ必要トスルノヲ通説トスル。大正六年八月二
十二日ノ判例ヲ始トシ多クハ之ヲ認めケル。

以上述べタ處ニ派ルト継父母ト云フノハ、自由ノ母又ハ父ノ配偶者ヲ
ルニ止リ、父又ハ母ニ非ザル者ニシテ自己ト家ヲ同ジスル者ヲ云ヒ
継子ト云フノハ、自己ノ配偶者、子タルニ止リ、自己ノ子ニ非ザルモ

ノニシテ自己ト家ヲ同ジスル者ヲ謂フト定義フ下ス。
民法ノ七ニ八條ニ依リテ法定血族關係ガ生ズルノハ継父母ト継子トノ
間ノ關係ニ限ル、継父母ノ血族ト継子トノ間ニハ法定血族關係ハ生ゼ

2 継父母ト継子ノ直系卑屬、継父母、継子ノ關係ヲ生ジテ後ニ、継子ガモウケテ處ノ直系卑屬アリ、家ヲ同ジテスルモノト継父母トノ間ニハ法定ノ血族關係ヲ有スル、判例(大正六年十一月二十六日)モ認メテ居ル。

夫父母ト庶子ノ直系卑屬ニ関シテ、

乙、嫡母ト庶子及其ノ直系卑屬

1、嫡母ト庶子

嫡母トハ父ノ家ニ在ル庶子ヨリ父ノ妻ヲ指ス名稱デアリ、

嫡母ト父ノ家ノ有ル庶子トノ間ニハ自然ノ親子ノ間ニ於ケルト同様ノ親族關係、即チ血族關係ヲ出ヅル、(セニハ條)

此ノ血族關係ハ庶子ノ父ハ嫡母タルベキ者トノ間ニ管領ニ基テ法定血族關係ナリ、

此ノ法定血族ノ關係ハ嫡母ト父ノ家ニ有ル庶子トノ間ニノミ生ジテ、庶子ト雖モ父ノ家ニ在ラザル時ニハ、此ノ法定血族ノ關係ハ生

ズ、又此ノ法定血族ノ關係ハ嫡母ノミ一ツニ止マツテ、其ノ血族ニハ及バズ、

2、嫡母ト庶子ノ直系卑屬、嫡母庶子ノ法定血族ガ生ジテ後ニ庶子ガモウケテ直系卑屬ニシテ、家ヲ同ジクスルモノト、嫡母トノ間ニハ法定血族關係ヲ生ジル、

二 教 配偶者ト云フノハ、婚姻中ノ男女即チ、夫婦ノ一方ヨリ他ノ一方ニ對スル名稱(稱呼) 配偶者ノ關係ハ婚姻中ノ男女ノ間ノミ存スル、ソレ故ニ所謂内縁ノ夫妻乃至ハ、私通ノ男女ノ間ニハ存在セズ、

(昔ハ妻ト云フモノヲ認メ親族タル名稱ヲ與ヘ明治ノ始モソウダツテ、新律、綱領ナルモノアリテ、妻ト同親統ト認メタ)
(民法デハミヲ認メズ)

三 教 姻 族

姻族トハ配偶者ノ一方ト他ノ一方トノ血族(但シニ親統内ニ限ル)ト
カ互ニ存スル身命ナリ、姻族關係ハ配偶者ノ一方ト他ノ一方トノ血族

トノ間ニノミ存ズル、縦テ一方ノ血族ト他ノ一方ノ血族トノ間ニ一方ト他ノ一方ノ血族ノ配屬者トノ間ナドニハ、此ノ親族關係ハ存在セズ、故ニ夫ト妻ノ父母、兄弟姉妹、妻ト夫ノ父母兄弟姉妹等ハ互ニ姻族ナルモ、夫ノ父母兄弟姉妹ト、妻ノ兄弟姉妹トハ姻族ナラズ又兄弟ノ妻トハ姻族アルモ、兄ノ妻ト弟ノ妻トハ姻族ナラズ

第三節 親系及ビ親統

1. 親系

親系ト云フノハ親族ノ間ニ存スル血統連絡ノ状態ヲ云フノデアアル、親系ニハ直系ト傍系トニ種アリ、直系ト云フノハ二人ノ親族ノ中ノ一方ヨリ他ノ一方ヘ血統ガ直下シテアル親系ヲ云フノデアアル、傍系ト云フノハ、血統ガ一方ヨリ他ノ一方ヘ直下セズ、共同ノ始祖カラ双方ヘ下ツテキル親系ヲ云フノデアアル、

七ノ内

2. 親系ニ直系ト傍系ト區別ガアルカラ、親族ニモ直系親族ト傍系親族トニ種ヲ生ズル、

又直系血族ハ之ヲ直系尊族ト直系卑族トニ別ツコトガ出木ル、直系尊族ト云フハ、彼ヨリ我ニ血族ガ直下シテ居ルノヲ云フノデアアル、直系卑族ト云フノハ我ヨリ彼ヘ血族ガ直下シテ居ル血族ヲ云フノデアアル、傍系血族ニモ、尊族・卑族ノ區別ヲ設ケルヲ得バシト雖ド尊族、卑族ノ別ハ主トシテ血系血族ニ付キマヲ呼ブノデアアル、民法ガ傍系血族ニ付テ、尊族・卑族ノ區別ヲ認メテ居ルノハ、(ハニハ條)ノ一ヶ條ニ過ギナイ、傍系血族ニ於テハ、共同始祖ヲ下ル、世帯ヲ教ヘテ、我ノ父母ト同ジセ帯教ヲ有スル者及ビソレヨリ少イ世帯ニ有ル者ヲ尊族トス、

我ヨリモ大キイ世帯ニ在ル者ヲ卑族トスル、
3. 親系ハ親族ノ間ニ存ズル血統連絡ノ状態ヲ云フノデアアルカラ本来ハ自然血族ノ間ノミ存ズルモノデアアル、然シテ夫ハ血族ハ血族ノ連絡アルモノトシテ、取扱フモノアカラ、此ノ間ニハ親系ガアル、

配偶者ハ親系ト云フモノハナイ、婚族ニモ親系ハ無キ筈ダガ民法ハ血族ニ準ジテ之ヲ認メルヘセセ。條、七二。條。

第二親統

親統ト云フノハ親族間ノ親ト、等級ヲ云フノデアアル、血統連絡ノ距離ヲ以テ之ヲ定ムル、其ノ單位ハ世代デアアル、親統ハ直統血族ニ在ツテハ、双方間ノ世代ノ家族ヲ計算シテ之ヲ定メル傍系血族ニ在リテハ一方ヨリ共同始祖ニ溯リ、ソレヨリ他ノ一方ヘ下ル迄ノ世代ノ數ヲ合算シテ之ヲ定メル、親統ハ血族連絡ノ距離ヲ計リ定ムベキモノナレバ血統連絡ナキ親族ノ間ニハ本來ハ親統ヲ定ムルヲ得ナイ、民法ハ姻族ノ親統ハ自己ノ相手タル、配偶者ヲ本トシテ之ヲ定ムルコト、シタ、(七二六條)

ハ外

第四節 親族關係

第一卷

第一、親族關係發生ノ原因

之ハ次ノ如レ

婚姻ノ左ノ親族關係ノ發生ヲ生セシム

1. 配偶者ノ關係

2. 姻族關係

3. 健父母ト健子ノ關係

4. 嫡母庶子ノ關係

所謂婚姻ト云フノハ、勿論民法上ノ婚姻ヲ意味ス、從ツテ内縁ノ夫婦關係ノ如クハ、親族關係發生ノ原因トハナラズ、

第二、出生

出生ハ出生シタ子供ト其ノ父母及ビ父母ノ五親統内ノ血族トノ間ノ血族關係發生ノ原因トナル、但シ出生シタル子供ケ嫡生子ナラザルトキハ

其ノ子ト母及其ノ血族トノ間ニハ、直ケニ血族ノ関係ヲ生ズルケレドモ父及其ノ血族トノ間ニハ、血族ノ関係ヲ生ズルノニハ父ノ認知アルコトヲ必要トスル、

第三 養子、縁組

養子、縁組ハ養子ト養親及其ノ血族トノ間ノ法定血族関係ヲ發セシムル、

第二卷 親族関係ノ效果

親族関係ハ或ハ權利ヲ與ヘ或ハ義務ヲ負ハシメタリ、或ハ無能力、若クハ無資格ヲ末シム、

1. 親族関係ヨリ生ズル權利ハ次ノ如シ

- (1)、家督相續權九七。條、九七二條、九七四條、九八四條
- (2)、家督相續人ニ選定セラル、權利九八二條
- (3)、遺産相續權九九四條、九九五條
- (4)、夫權十四條、七九九條、八〇四條

(5)、親權八七七條

(6)、親族會ノ召集ヲ請求スル 三四四條

(7)、扶養ヲ受ケル權利 七九。條、九五四條

(8)、禁治産、準禁治産ノ宣告並ニ其ノ取消ヲ請求スル權利 七條、一。條、一三條

2. 親族関係ヨリ生ズル義務ハ次ノ如シ

(1)、子ガ婚姻ヲ爲スニ付父母ノ同意ヲ受クベキ義務 七七二條

(2)、夫婦守貞ノ義務(明カニ定メテ條文ハナイ)

(3)、夫婦同居ノ義務 七八九條

(4)、父母ガ子ヲ監督、教育シ及ビ子ノ財産ヲ管理スル義務 八九七條
八八四條

(5)、後見人トナル義務 七九一條、九。二條

(6)、親族會員トナル義務 九四五條

(7)、扶養ヲ爲ス義務 七九。條、九五四條

3、親族関係ヨリ次ノ如キ無能力、無資力ヲ生ズル
 (a)、妻ノ無能力 一四條
 (b)、近イ親族間ノ婚姻無資格 七六九條
 (c)、近親間ノ養子縁組ノ無資格 八三八條
 以上述べタノハ親族関係ノ民法上ノ效果ア尚ホ此ノ外ニ種々ノ法令上種々ノ效果ヲ生ズル

第三款 親族関係消滅ノ原因

之ハ次ノ如クニ分ケテ説明スルヲ便利トス

第一、自然血族関係ノ消滅原因

自然血族関係ノ消滅原因ハ死亡ト云フコトニアルノミ
 自然血族ノ一方カ死亡スルト生存者相互間ノ法律関係トシテノ親族関係ノ消滅スルコトハ明カナリ、然レテラ自然血族ノ根拠トナル血統連絡ノ事度ハ、一旦生存レテ以上ハ一方カ死亡シテモ之ガ爲ニ抹殺スルコトヲ得ズ、ソレ故ニ一方カ死亡スルモ生存者ガ死亡ニ對スル血族ヲ

ル身分及ビ之ニ基ク權利義務ノ内、死者ノ生存ヲ前提トシナイモノハ
 消滅セズ。

第二、法定血族関係

此ノ親族関係ノ消滅原因ハ次ノ如シ

1、養子縁組ニ基ク親族関係ノ消滅原因

- (甲)、養子ハ養子ノ養親及其ノ血族トノ間ノ親族関係ノ消滅原因
- (b)、死亡、(養子ノ)ニハ養子ハ養親、及其ノ血族関係無クナル
- 養親ノ死亡アハ、其ノ死シテ養親トノ親族関係無クナルノミ、養親ノ血族ト親子トノ間ノ親族関係ハ無クナラズ
- (c)、離縁、七三〇條
- (d)、縁組ノ取消 七三〇條第一項ハ養子縁組ノ取消ノ場合ヲ云フ

居ナイガ、合様ニ解散フベキモノデア
 (e)、去家、養親ガ養家ヲ去ル時ハ、養親及其ノ実方ノ血族ト養子トノ間ニ親族関係ガ消滅ス、七三〇條第二項、此ノ規定ハ養親ガ其

ノ家ノ家付ノ人ナラズシテ、他家ヨリ入来ル者ナルヲ前據トスル、
養子縁組ニ依リ入家シタ者ニ限ルモノデハナイ、即チ養親ガ婚姻
ニ依リ入家シタルモノデモ此ノ規定ガ用ヒラレル、養親ノ去家ニ
依リテ消滅スル者ハ、家ヲ去リタル養親及其ノ実方ノ血族ト養子
トノ間ノ親族關係ニ止マル、所謂実方ノ血族ト云フノハ、養親ガ
現在ノ家（ニ居ル）即チ養家ニ入ル前存シタ養親ノ血族ヲ云フ
養親ノ家ヲ去ルト云フコトハ、本家相續ノ爲、分家ノ爲、養絶カ
再興ノ爲ナル時ハ右ノ規定ハ適用セズ、七三一條

終

0

參拾